

Canon Autoboy MINI



J

日本語版
使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

オートボーイミニTは、広角：38mmと望遠：70mm切り換え式レンズを備えたコンパクトなボディの全自動カメラです。AI*オートフォーカス機構が被写体(撮りたいもの)を自動的に判別してピントを合わせるので、気軽に撮影することができます。コンパクトなボディのこの全自動カメラで、手軽に写真撮影をお楽しみください。

●オートボーイミニTの特長

1. 使い勝手のよい広角38mm／望遠70mmレンズの2焦点レンズ付き(F3.5/F6)
2. 望遠70mm、0.65mで約B 5判サイズの近接撮影が可能
3. 遠距離までピントが合う高精度アクティブAI*オートフォーカス
4. 3種類の撮影モード
5. 赤目緩和撮影機能(全自動撮影時)
6. デート写し込み機能

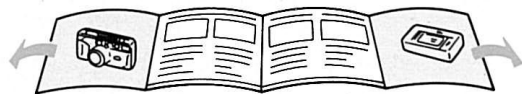
* AI(Artificial Intelligence : 人工知能)

●使用説明書の構成

この使用説明書は、大見出しを付けて機能や操作の説明を使用目的別に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は始めから順にお読みください。

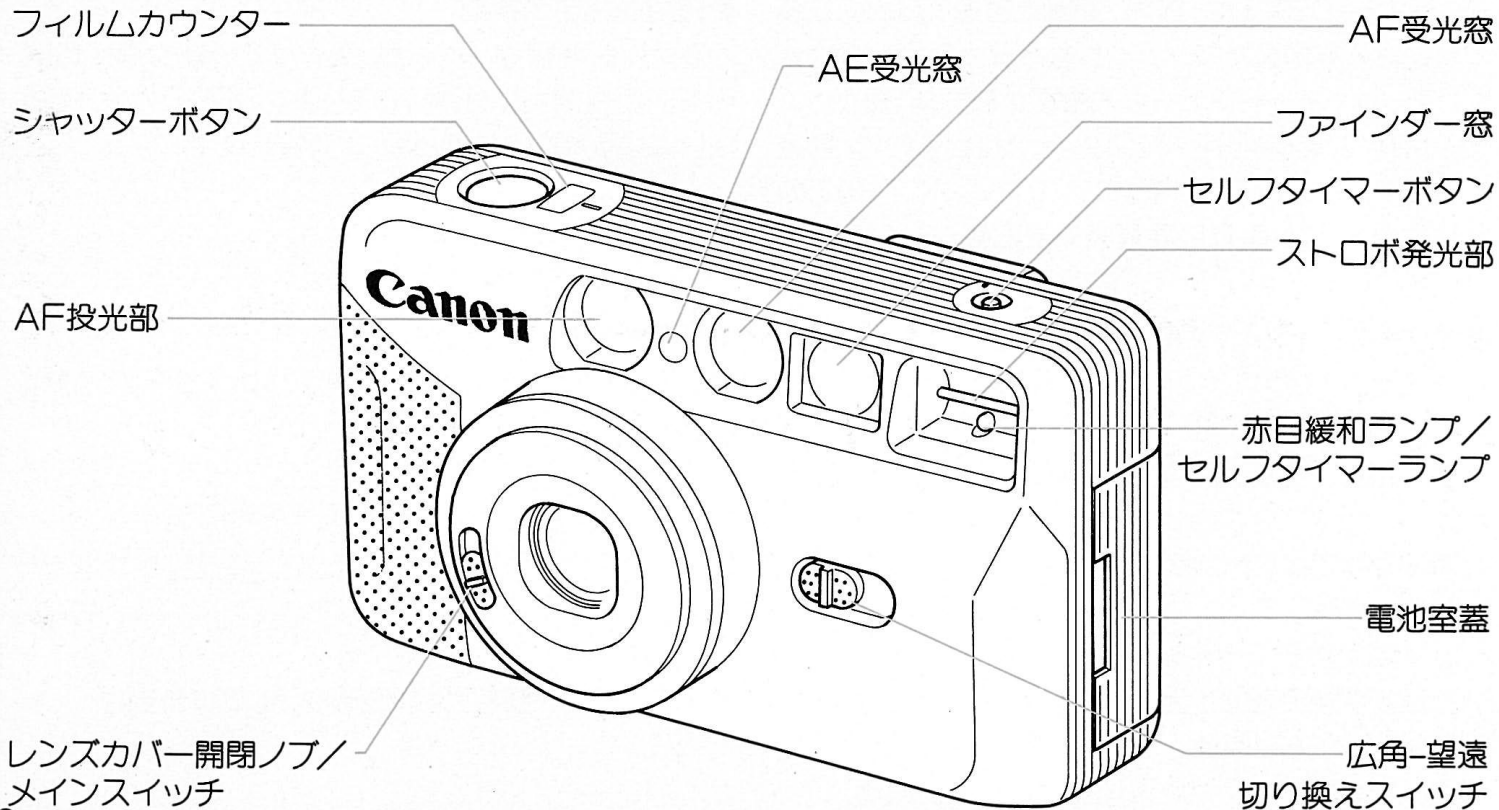
●使用説明書の利用法

表紙と裏表紙の各部の名称を図のように開いてご覧ください。



●本文中の(→■頁)は参照頁を示しています。

各部の名称



もくじ

カメラの準備をします

- 1. 電池を入れます……………5
- 2. 撮影準備……………6

カメラ操作の練習をします

- 1. カメラの正しい構え方……………7
- 2. シャッターボタンを押してみます……………8
- 3. フィルムを入れます……………9
- 4. 撮影レンズを選びます……………11

全自動撮影で簡単な撮影をします

- 1. 撮影モードスイッチをAUTOにセットします……………13
 - 赤目緩和撮影機能
- 2. 撮影します……………14
 - フォーカスロック撮影……………16
 - ガラス越しの撮影……………17
- 3. フィルムを取り出します……………18

カメラの機能を使いこなすために

- 1. 撮影モードの変更……………19
 - 1) ストロボOFF撮影……………19
 - 2) ストロボON撮影……………20
- 2. セルフタイマー撮影……………21

日付を入れて撮る

- 1. 写し込み表示の選択……………22
- 2. 日付/時刻の修正……………23

いつもカメラを正常に保つために

- 1. カメラ用電池のチェックのしかた……………24
- 2. デート用電池の交換……………25
- 3. カメラを修理に出す前に……………27
- 4. 取り扱い上のご注意……………28

Q & A……………29

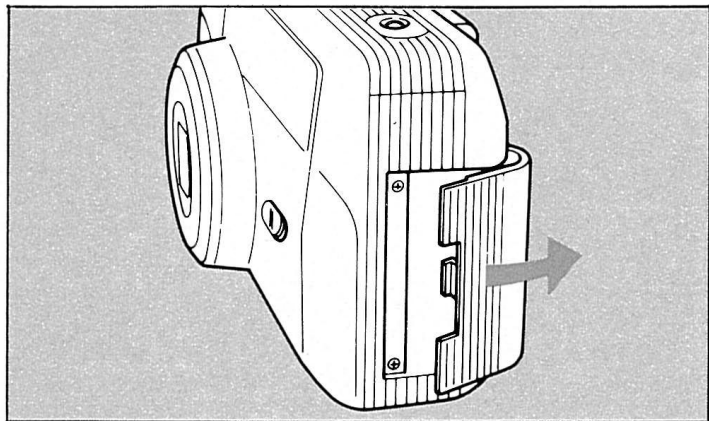
アフターサービスについて……………29

主要性能一覧……………31

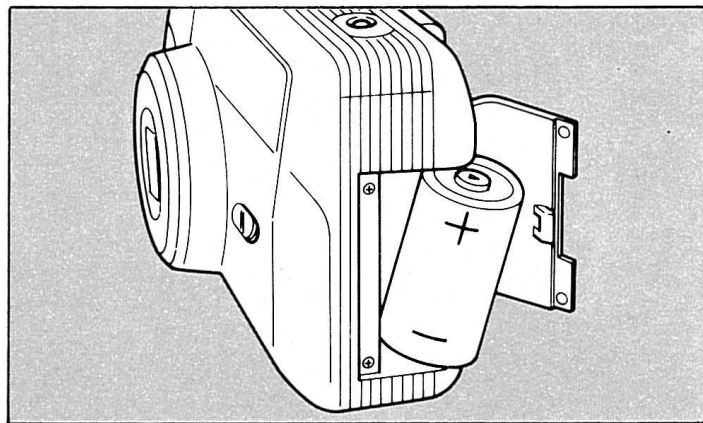
カメラの準備をします

1 電池を入れます

撮影を始める前に、必ず付属の電池をカメラに入れてください。

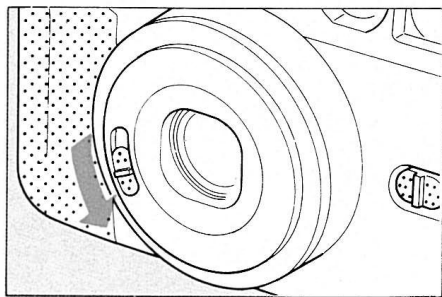


1 電池室蓋を矢印の方向に開きます。



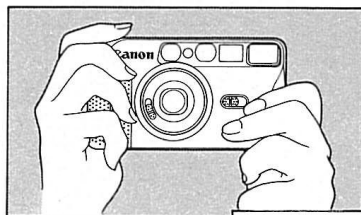
2 ⊕⊖の表示を正しく合わせ、電池を図のような向きで入れ、電池室蓋を閉じます。

2 撮影準備



1 レンズカバー開閉ノブを矢印方向にスライドさせてレンズカバーを開けます。

●電源が入るとレンズが自動的に繰り出します。



緑ランプ

2 シャッターボタンを軽く押し、緑ランプが点灯すれば撮影準備OKです。

●電池のチェックは24頁をご覧ください。

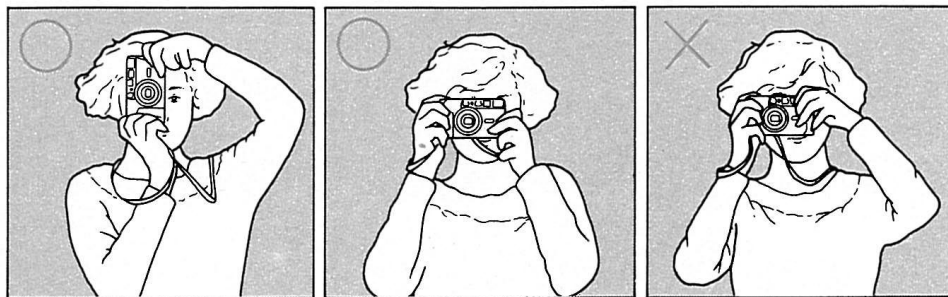
【撮影可能本数】

24枚撮りフィルム約15本（ストロボ50%使用時／当社試験条件による）

- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一の時に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によって電池の入手が困難ことがあります。
- カメラを使用しないときは必ずレンズカバーを閉じてレンズを収納し、専用ケースに入れて保管してください。
- フィルムが入っていない状態で電池の交換をしてください。フィルムが入った状態でどうしても交換する場合はレンズカバーを閉じ、すばやく交換してください。

カメラの操作の練習をします

1 カメラの正しい構え方



撮影のときにカメラが動くことを「手ぶれ」といいます。手ぶれ写真はピンボケの写真とは異なり、写真全体がボケており、シャープに写っているところがありません。シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。

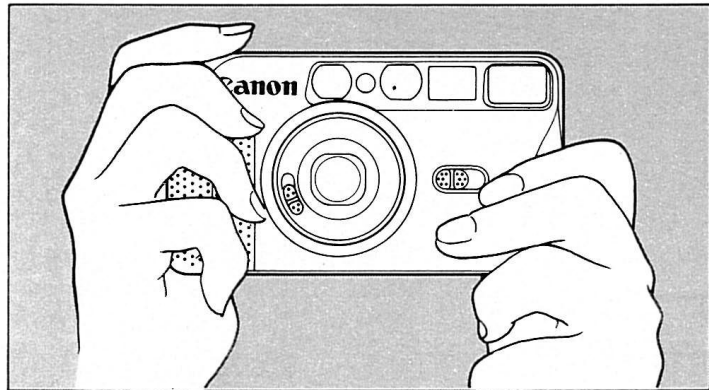
- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光窓、AE受光窓、ストロボ発光部などに髪や指がかからないように注意してください。
- レンズの鏡筒部分を持ってカメラを構えないでください。

- 1 ストラップを首にかけて両手でカメラを持ちます。
- 2 ひじを体に軽くつけます。
- 3 カメラを額に付けるようにして、ファインダーを覗きます。

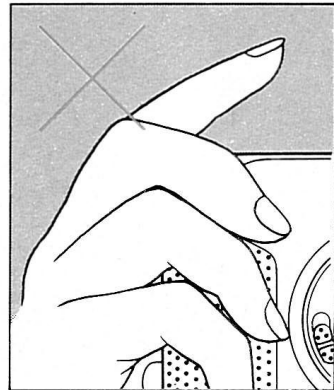
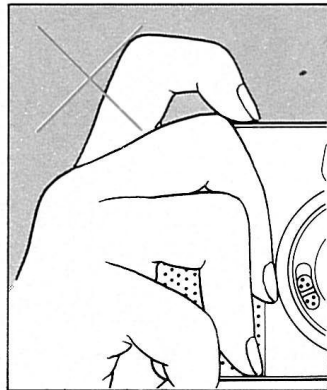
ISO 200 やISO 400 などの高感度フィルムを使用すると、手ぶれしにくくなります。

2 シャッターボタンを押してみます

シャッターボタンは二段階になっています。軽く一段目まで押しとピントが合い、さらに押しとシャッターが切れます。撮影後フィルムは、



自動的に巻き上げられます。シャッターボタンの押し方はブレのないはっきりした写真を撮るための重要なポイントです。

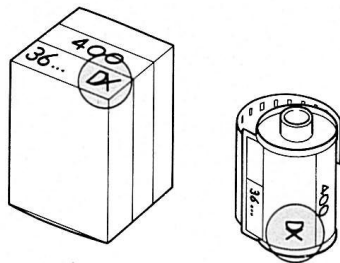


1 指の腹をシャッターボタンに軽くのせます。

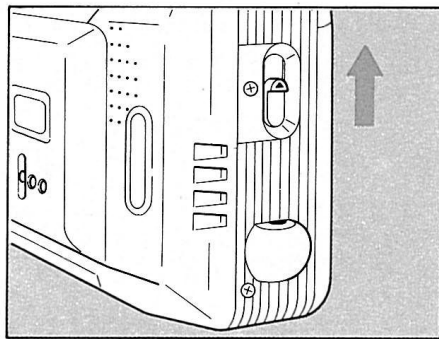
2 シャッターボタンを軽く押し、その位置からカメラをにぎるような感じでゆっくりシャッターボタンを押します。

- 指をシャッターボタンから離れた状態から一気に押し、あるいは指を立てて押すことは手ぶれの原因になります。シャッターボタンは正しく押してください。

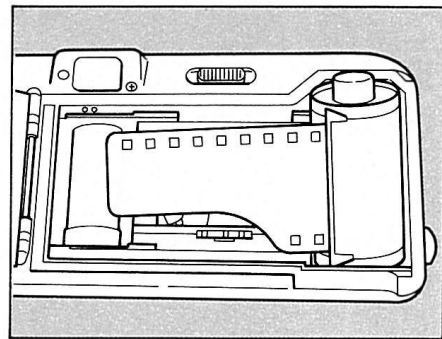
3 フィルムを入れます



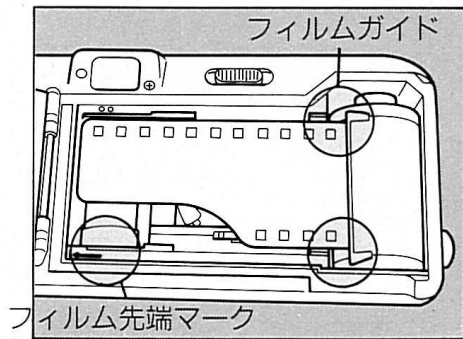
DXマークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。使用できるフィルム感度はISO 25～ISO 3200です。手ぶれを防ぐためにもISO 200 やISO 400などの高感度フィルムの使用をお勧めします。



1 背蓋開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背蓋を開きます。

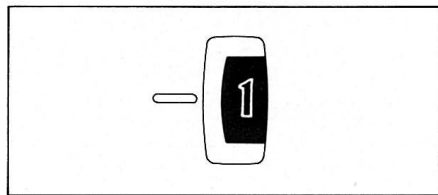


2 フィルムを図のような向きで、フィルム室に入れます。



3 フィルム先端を、フィルム先端マークまで引き出します。

4 フィルムガイドの間にフィルムが正しく位置していることを確認して背蓋を閉じます。背蓋を閉じると自動的にフィルムが送られて1枚目にセットされます。



フィルムが正しくセットされると、フィルムカウンターに“1”が表示されます。

フィルムカウンターに“1”が出ないときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直して下さい。

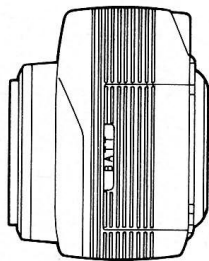
フィルム感度 ISO 25またはDXマークのついていないフィルムは、フィルムをフィルム室に入れ背蓋を閉じてシャッターボタンを押してください。フィルムカウンターに“1”が表示されます。この場合、フィルム感度はISO 25にセットされます。

4 撮影レンズを選びます。

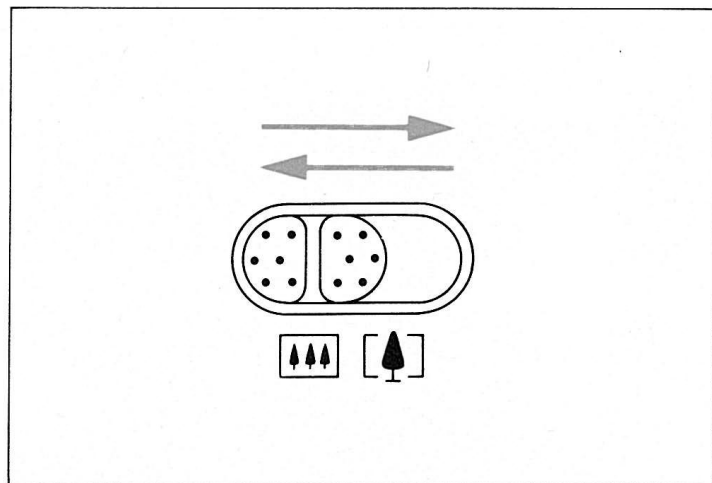
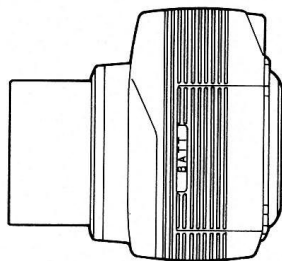
このカメラは撮影レンズを広角レンズと望遠レンズに切り換えることができます。目的に合わせて選択してください。



38mmF3.5



70mmF6



広角-望遠切り換えスイッチにより、撮影レンズの切り換えをします。



☐ 広角レンズ

レンズは広角になり広い範囲を写すことができます。風景の撮影や人物の集合写真を撮影するときなどに使用します。

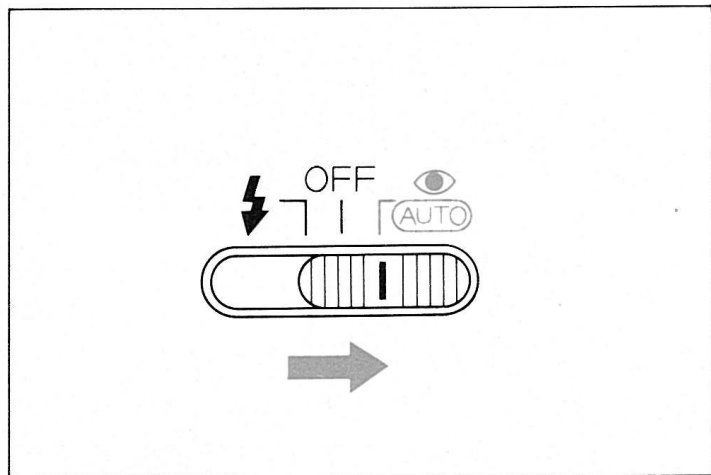


[🔍] 望遠レンズ


レンズは望遠になり、大きく写すことができます。人物のポートレート撮影などに使用します。

全自動で簡単な撮影をします

1 撮影モードスイッチをAUTOにセットします




レンズカバーを開け撮影モードスイッチを

 の位置にセットします。

全自動撮影は被写体が暗いと自動的にストロボが発光します。

赤目緩和撮影機能

人物をストロボ撮影すると、人の目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言います。

このカメラは、赤目緩和機能を備えています。撮影モードスイッチを、AUTO () に切り換えた全自動撮影では赤目現象の出やすい状況になると、ストロボ発光の前に約1秒間、赤目緩和ランプが点灯して赤目現象の発生を緩和します。

- 赤目緩和ランプが点灯すると、緑ランプが早い点滅(16回/秒)から点灯に変わります。

- 赤目緩和撮影では写される人が赤目緩和ランプを注目するように声をかけてからシャッターを押すと、赤目緩和機能を効果的にご利用いただけます。

2 撮影します

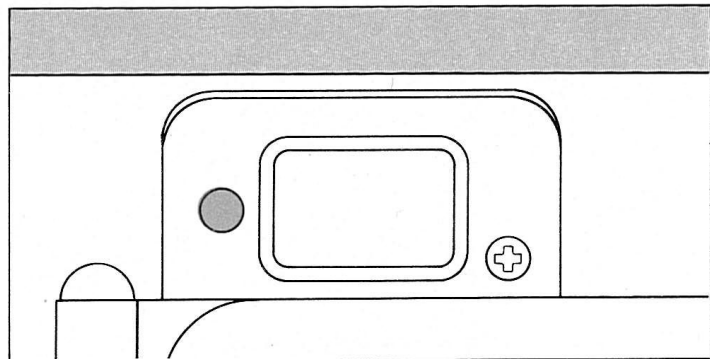
(ファインダー視野図)



撮影範囲枠

フォーカスマーク

近距離撮影範囲枠
(→29頁)



- 1 広角-望遠切り換えスイッチを使って撮影レンズを選択し、構図を決めます。
被写体にカメラをむけファインダーをのぞきながらフォーカスマークを目安にして、軽くシャッターボタンを押します。ピントが合うと、縁ランプが点灯します。

● 緑ランプが点滅（4回／秒）した場合は、被写体までの距離が近すぎてピントが合いません。0.65m以上離れてください。

● フォーカスマークからいづらか被写体はずれた場合でもAIオートフォーカスにより、自動的にピントが合います。

2 そのままシャッターボタンから指をはなさず、静かに押してシャッターを切ります。

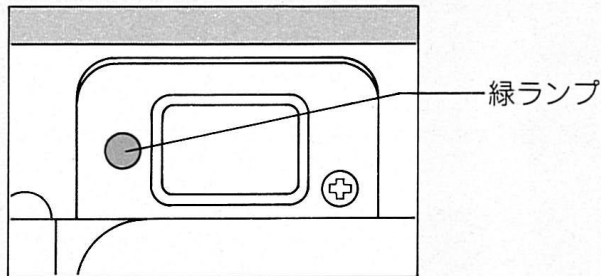
● 暗いところではストロボが自動的に発光します。

【ストロボの連動距離範囲】

フィルム感度	38mm	70mm
ISO 100	0.65～4.8m	0.65～2.8m
ISO 200	0.65～6.8m	0.65～4.0m
ISO 400	0.65～9.6m	0.65～5.6m

（カラープリント用フィルム使用時）

表示ランプについて

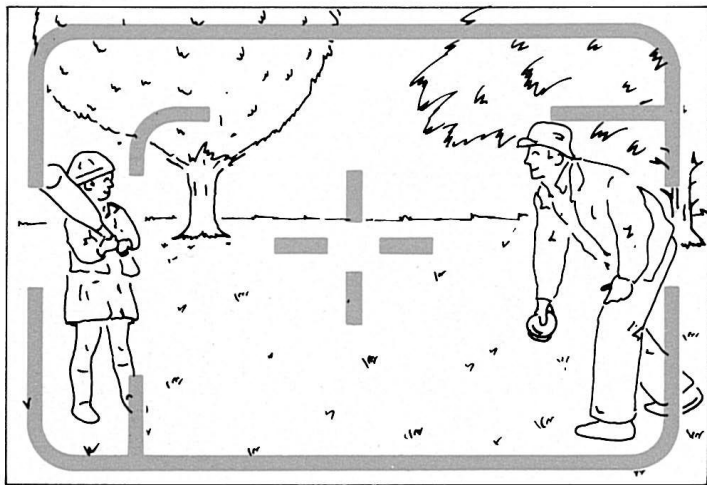


【緑ランプ】

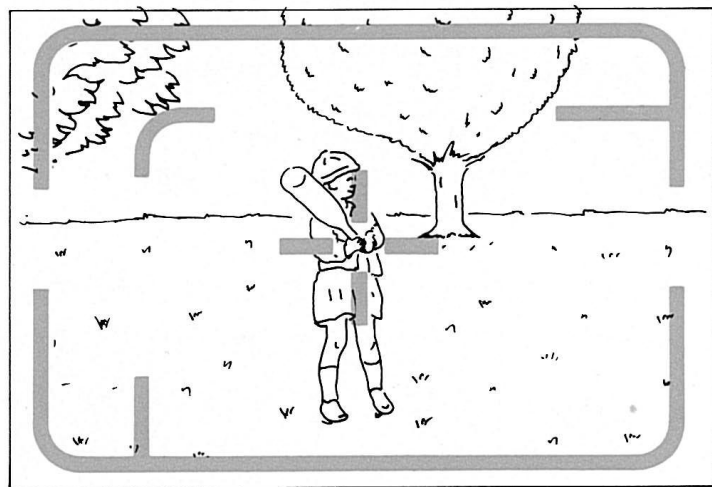
- 点灯：ピント合わせ完了（撮影OK）
- 遅い点滅（4回／秒）：近距離警告 0.65mより近づくと点滅
- 速い点滅（16回／秒）：手ぶれ警告（ストロボOFFモード時）

フォーカスロック撮影

特に小さなものや被写体を極端にファインダーの端に配して撮影するとき、あるいはカメラを縦に構えて撮影するときなどはフォーカスロック撮影をしてください。

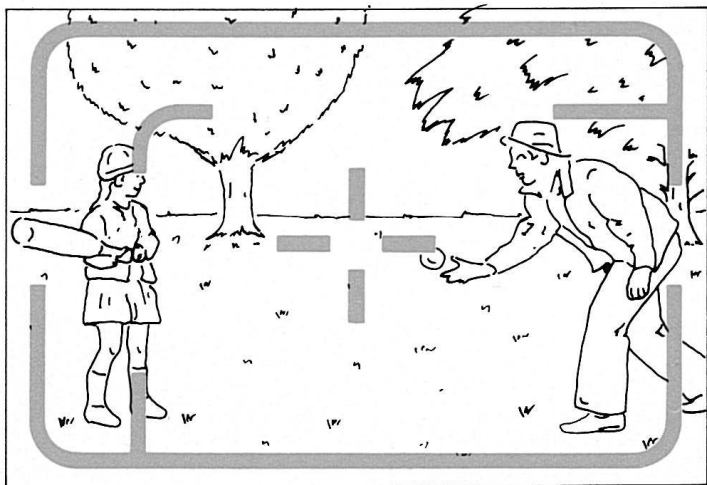


1 ファインダーをのぞき構図を決めます。



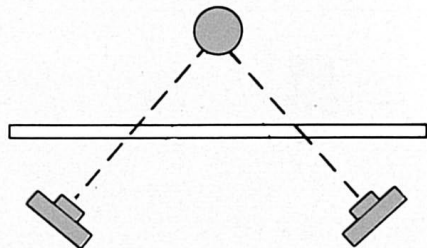
2 ピントを合わせる被写体にフォーカスマークを合わせ、軽くシャッターボタンを押します。緑ランプが点灯してピント合わせが完了します。

ガラス越しの撮影



- 3 シャッターボタンを軽く押したまま、構図を決めてシャッターを切り撮影します。このとき撮影距離は変えないでください。

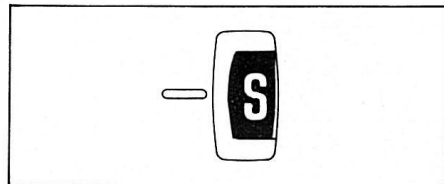
ガラス越しのものを撮影する時は、図のようにカメラを、ガラスから離れた（20cm以上）斜めの位置から撮影してください。



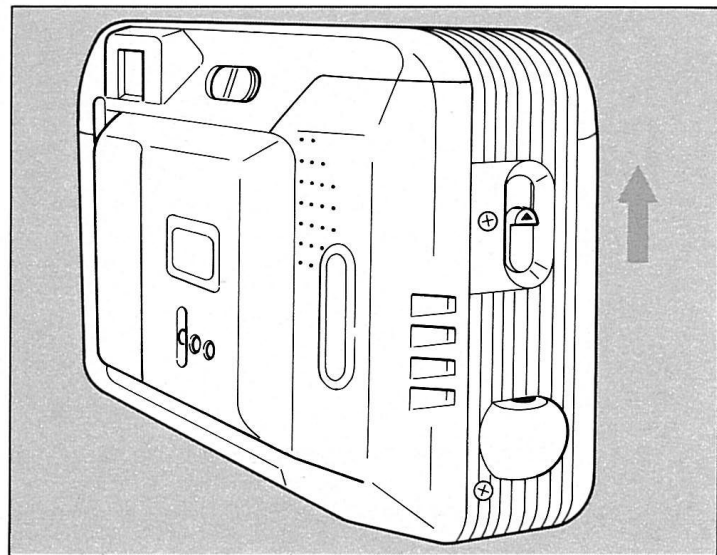
3 フィルムを取り出します

セットしたフィルムを使い終わると自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻し中はフィルムカウンターの数値が減っていきます。

フィルムカウンターの数値が“S”になり、巻き戻しが終了します。



フィルムを使い終わるまで、フィルムは自動的に巻き戻されません。



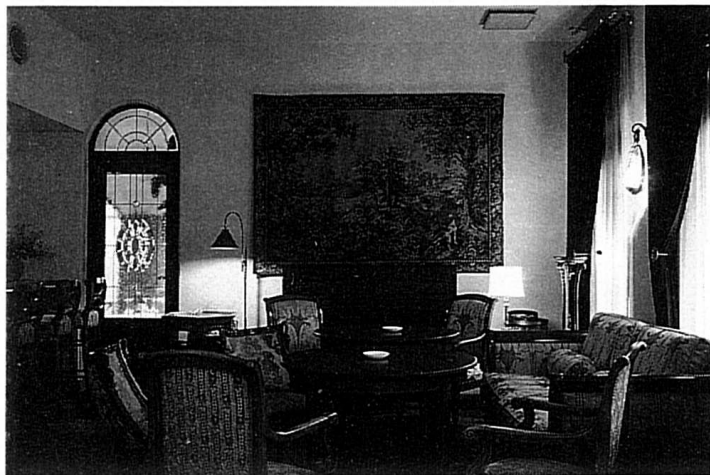
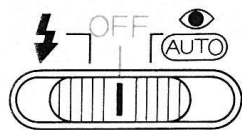
背蓋開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背蓋を開きフィルムを取り出します。

● 規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。

カメラの機能を使いこなすために

1 撮影モードの変更

撮影モードスイッチの切り換えで、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めることができます。



1) ストロボOFF撮影

撮影モードスイッチをストロボOFFマークに切り換えると、ストロボが発光しなくなります。ストロボ撮影が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用したの撮影などに使用します。

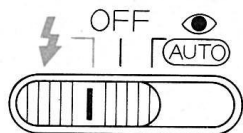
- 暗い場所でのストロボOFFによる撮影は、シャッタースピードが遅くなります。
- 手ぶれ警告で緑ランプが早く点滅(16回/秒)したときは、しっかりした台のうえに置くか三脚をご利用ください。



2) ストロボON撮影

ストロボONマーク(⚡)に切り換えると、撮影場所の明るさに関係なくストロボが発光します。逆光時や被写体の影をやわらげるときに使用します。

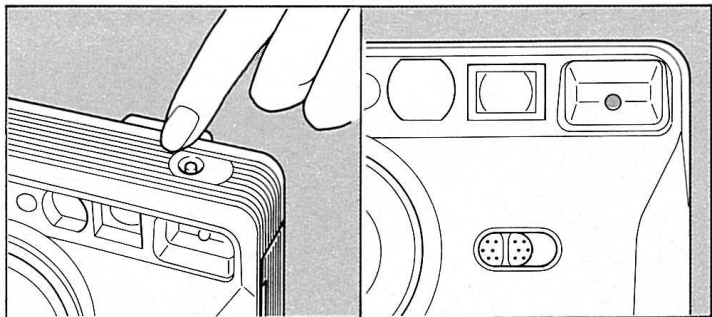
- ストロボの連動距離範囲は全自動撮影の場合と同じです。(→15頁)
- ストロボON撮影では赤目緩和機能は作動しません。



2 セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使用すると撮影者自身も写真に入ることができます。

セルフタイマー撮影のときは、カメラをしっかりとした台のうえに置くか、三脚をご利用ください。



カメラを被写体に向けて構図を決め、セルフタイマーボタンを押してピントを合わせます。ピントが合うと緑ランプが点灯します。

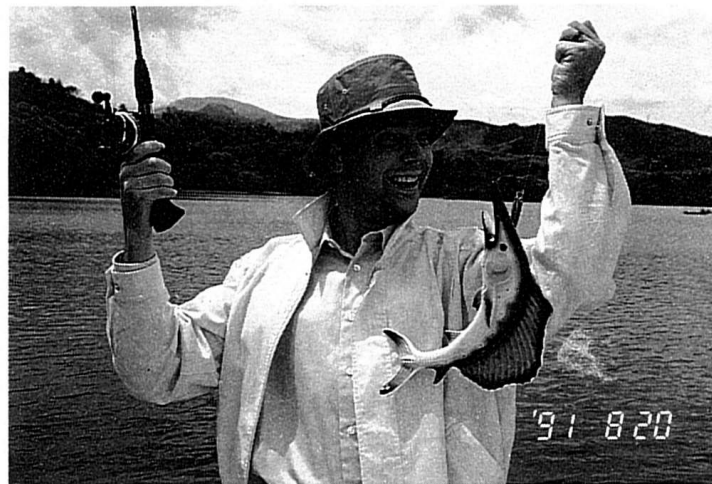
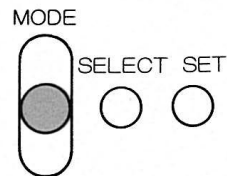
- セルフタイマーランプ/赤目緩和ランプが点滅をはじめ（1回/秒）、約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる2秒前になるとランプの点滅がさらに速く（4回/秒）なります。ただし、赤目緩和機能が作動すると、シャッターが切れる2秒前からランプが点灯します。
- カメラの直前に立ってセルフタイマーボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。
- セルフタイマー作動中に解除するときは、セルフタイマーボタンを再び押すかレンズカバーを閉じて下さい。

日付を入れて撮る

1 写し込み表示の選択

デート表示切り換えボタン(MODE)を押して、写真に写し込む日付/時刻の表示を選びます。デート表示切り換えボタンを押すたびに表示パネルは次のように変わります。

<年月日>表示	'91	8	20
<日時分>表示	20	16:45	
(写し込みなし)	--	--	--
<月日年>表示	8	20	'91
<日月年>表示	20	8	'91



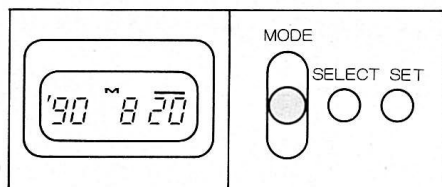
●日付は写真のように写し込まれます。

2 日付／時刻の修正

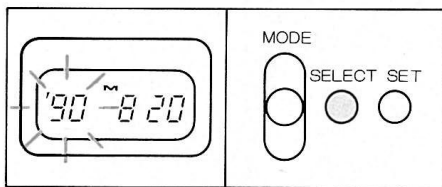
2019年までのオートカレンダーが組み込まれています。

撮影のたびに日付をセットする必要はありませんが、海外旅行などで日付／時刻を修正するときやデート用の電池を交換したときは次のようにします。

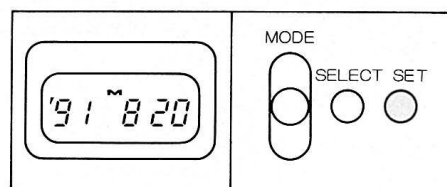
- 日付／時刻はあらかじめ日本時間にセットされています。
- 数値セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。



- 1 デート表示切り換えボタン (MODE) を押して、表示パネルに修正する日付 (時刻) を表示します。



- 2 修正位置選択ボタン (SELECT) を押して修正する数字を点滅させます。

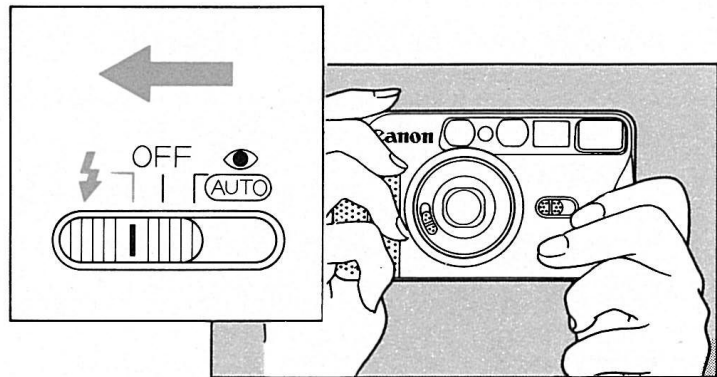


- 3 数値セットボタン (SET) を押して正しい数字をセットします。
- 4 すべての数字が点灯するまで、修正位置選択ボタン (SELECT) を押し続けます。
- すべての数字が点灯すれば、セットは完了です。

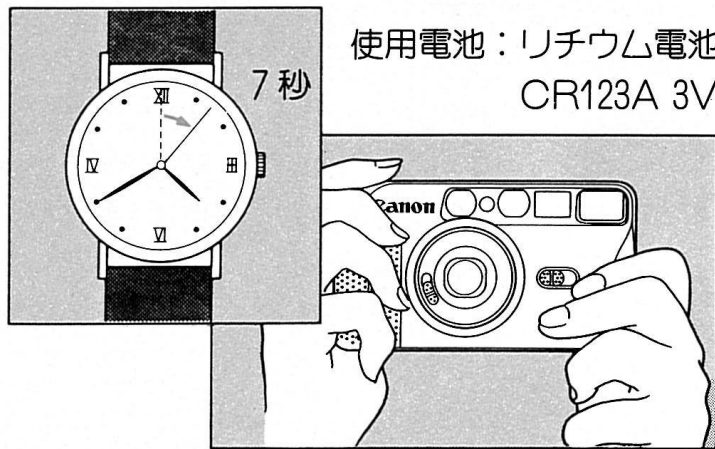
いつもカメラを正常に保つために

1 カメラ用電池のチェックのしかた

カメラ用電池のチェックを行うときは、シャッターを切りますのでフィルムが入っていない状態でチェックをしてください。



1 撮影モードスイッチをストロボONマーク(⚡)に切り換え、シャッターボタンを押してストロボを発光させます。指を一旦シャッターボタンから離します。



2 時計を見ながら、ストロボが発光してから7秒後に、再びシャッターボタンを押して発光することを確認めます。ストロボが発光すればOKです。ストロボが発光しないときは、新しい電池と交換してください。(→5頁)

2 デート用電池の交換

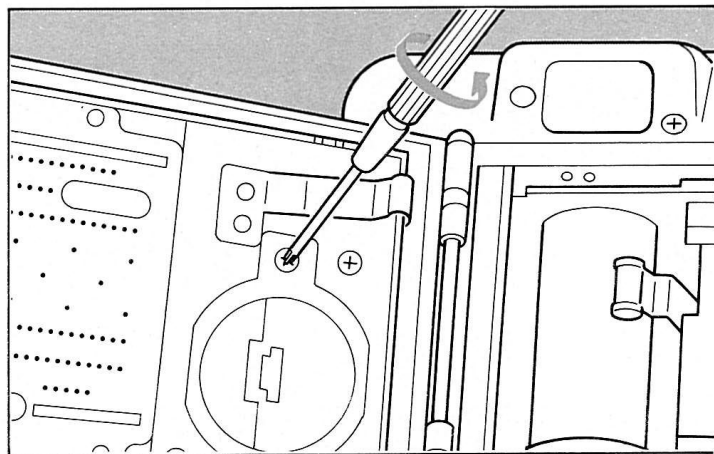
カメラにはデート用の電池があらかじめ内蔵されています。写し込まれた数字が見えにくくなったときは、デート用の電池を交換してください。

使用電池：ボタン型リチウム電池
CR 2025 3V 1個

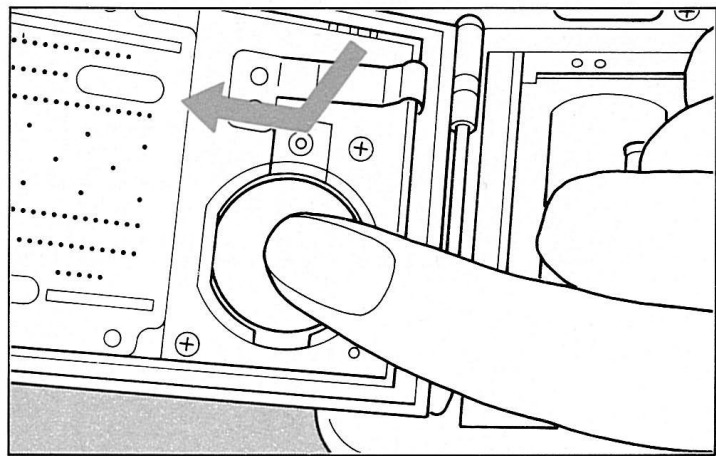
寿命：約3年

●デート用の電池を交換すると表示パネルの日付が「87.1.1」に変わります。日付と時刻を修正してください。

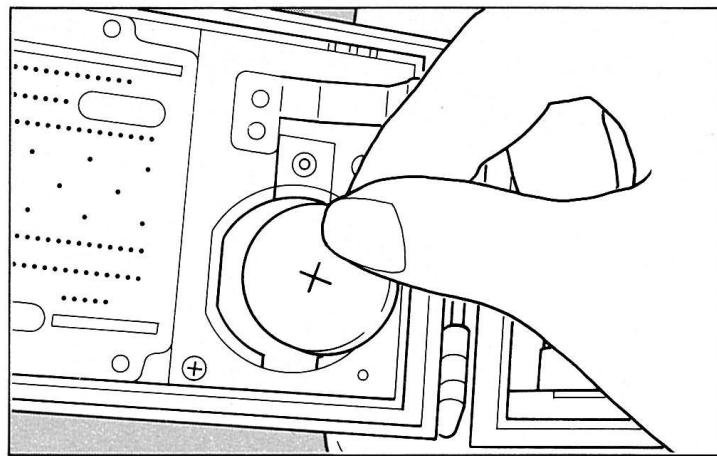
▼
電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。



1 背蓋を開け、電池室の蓋を取り外します。



2 図のように、電池を取り外します。



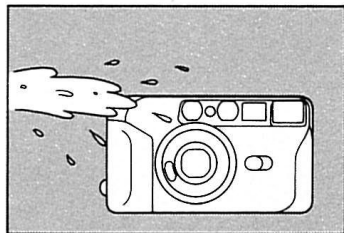
3 新品電池の+を上にして入れ、電池室蓋を取り付けます。

4 日付けと時刻をセットし直します。

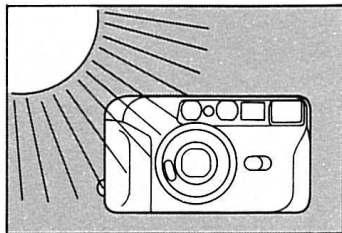
3 カメラを修理に出す前に 次の表を参考にしてチェックしても、症状に変化がなければ修理にお出してください。

症状	原因	解決方法	参考頁
1. 緑ランプが点滅点灯しない	①電池が消耗している ②電池が逆向きにはいつている	①電池を交換する ②電池を正しく入れ直す	5 5
2. シャッターが切れない	①レンズカバーが閉じている ②電池が消耗している ③フィルムが正しくセットされていない ④巻き戻されたフィルムがカメラに入っている	①レンズカバーを開く ②電池を交換する ③フィルムを正しく入れ直す ④フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	6 5 9 18
3. 写真がボケて写っている	①シャッターを切るときに、AF受光窓をおおっていた ②セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってセルフタイマーボタンを押した ③シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	①髪や指などでAF受光窓をおおわないように気をつける ②カメラの直前に立たないように気を付ける ③シャッターボタンを静かに押す	7 21 8

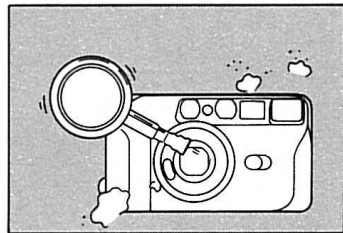
4 取り扱い上のご注意



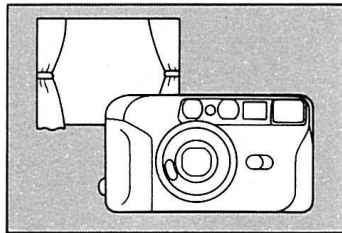
◆このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。また、水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。



◆直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因となることがありますのでこのような中にカメラを放置しないでください。
◆カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に自分で分解しないでください。



◆レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のプロアブラスシで吹き飛ばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。



◆カメラを長期間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

Q.1 リバーサルフィルムは使えますか？

A.1 はい、使うことができます。ただし、DXマーク付きのフィルム感度ISO 25, 50, 100, 200, 400, 800, 1600, 3200 のものを使用してください。

Q.2 フィルム感度(ISO)とは何ですか？

A.2 フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO 200やISO 400のフィルムをお勧めします。

Q.3 写真に写し込まれた日付が読みにくいのですが？

A.3 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものがくるようにしてください。また、オレンジ色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q.4 近接撮影のとき、緑ランプが遅い点滅をしても、そのまま撮影すると写真はどうなりますか？

A.4 緑ランプの遅い点滅は近距離警告です。このまま撮影するとピントが合いません。緑ランプが点滅しない距離まで離れて撮影してください。

Q.5 ファインダー内の近距離撮影範囲枠とは何ですか？

A.5 撮影距離が0.65~1.0m のときの撮影範囲を示す枠です。1m以下に近づいて撮影するときには、この範囲枠内で構図を決めて撮影してください。

アフターサービスについて

1. 保障期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

ファインダー

緑ランプ(撮影OK/
近距離警告/手ぶれ警告)

表示パネル

三脚ねじ穴

デート表示切り換えボタン

修正位置ボタン

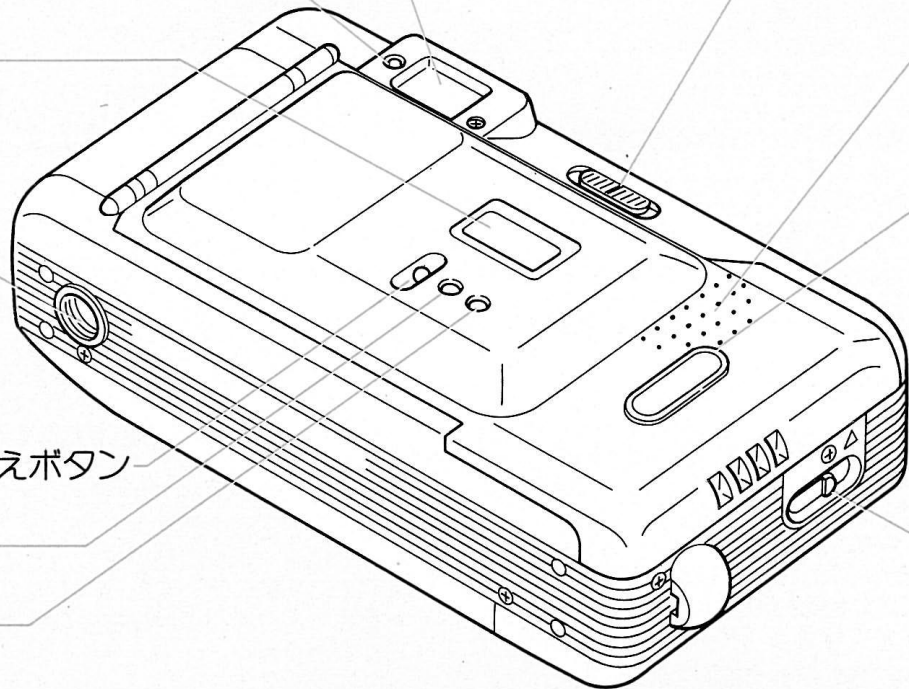
数値セットボタン

撮影モードスイッチ

背蓋

フィルム確認窓

背蓋開放ノブ



主要性能一覽

形式：2焦点レンズ内蔵、35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ

画面サイズ：24×36mm

レンズ：キャノンレンズ

広角／望遠2焦点電動切り換え

広角；38mm F3.5/3群 3枚構成

望遠；70mm F6/6群 6枚構成

焦点調整：アクティブオートフォーカス

撮影距離：0.65m～∞

シャッター形式 絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター

ファインダー：変倍式アルパダ式逆ガリレオファインダー

広角／望遠自動切り換え

倍率：広角 0.37倍 望遠 0.64倍

ファインダー情報：ファインダー内：撮影範囲枠／近距離撮影範囲枠／フォーカスマーク

ファインダー接眼部：撮影OKランプ兼近距離警告，手ぶれ警告（緑色LED）

フィルム装填：自動（自動空送り付き）

フィルム巻き上げ：自動

フィルム巻き戻し：自動，終了後自動停止，途中巻き戻し不可

フィルムカウンター：順算式，フィルムの移動に連動

フィルム在否確認：背蓋フィルム確認窓あり

セルフタイマー：電子制御式，セルフタイマーボタンにより作動、約10秒後リリース，ボディ正面セルフタイマーランプ／赤目緩和ランプ点滅表示

測光作動範囲（ISO 100）：全自動モード／ストロボONモード：

広角；1/60 F3.5～1/250 F22（EV9.5～17）

望遠；1/100 F6～1/200 F24（EV12～17）

ストロボOFFモード；

広角；1/8 F3.5～1/250 F22（EV7～17）

望遠；1/8 F6～1/200 F24（EV8.5～17）

フィルム感度：ISO 25～3200，DXコードにより1段ごとに自動セット

内蔵ストロボ：低輝度時自動発光式内蔵型ストロボ，赤目緩和ランプ内蔵

ストロボ連動範囲：広角；0.65～4.8m

望遠；0.65～2.8m

（カラープリント用フィルムISO 100使用時）

ストロボ充電時間：約4秒

ストロボ切り換え：撮影モードスイッチによる

①全自動モード：低輝度自動発光

②ストロボOFFモード：発光禁止

③ストロボONモード；常時発光

電源：リチウム電池 CR123A/DL123A 3V 1個

撮影可能本数：24枚撮りフィルム 約15本

大きさ：125（幅）×68（高さ）×53（奥行）mm

重量：240g（カメラ用電池別）

オートデート機構：方式；液晶表示式 クォーツデジタル時計

内蔵オートカレンダー（西暦2019年まで、うるう年自動修正）時計機構；常温20℃下で月差±120秒以下

写し込みデータ；①年・月・日②日・時・分③写し込み

なし④月・日・年⑤日・月・年

写し込みの色：オレンジ色

電源；ボタン型リチウム電池 CR2025 3V 1個

●ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。

●都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。



キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田3-11-28

■カメラ相談室(製品取り扱い方法ご相談窓口)

東京・〒108 東京都港区三田3-11-28

☎(03) 3455-9353

■サービスセンター(修理サービスご相談窓口)

札幌	〒060	札幌市北区北七条西1-1-2 (S E 山京ビル 5 階)	☎(011)	728-0665
仙台	〒980	仙台市青葉区一番町1-1-30 (やまと生命ビル 2 階)	☎(022)	266-9851
新潟	〒950	新潟市紫竹山1-10-26	☎(025)	246-8765
銀座	〒104	東京都中央区銀座5-9-9	☎(03)	3573-7834
新宿	〒163	東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1階)	☎(03)	3348-4725
横浜	〒220	横浜市西区北幸2-6-26 (H I 横浜ビル)	☎(045)	312-0211
大宮	〒330	大宮市桜木町4-247 (O S ビル 1 階)	☎(048)	649-1450
千葉	〒280	千葉市末広2-13-2	☎(0472)	68-5261
静岡	〒420	静岡市常磐町2-13-1 (住友生命静岡常磐町ビル)	☎(0542)	53-9010
名古屋	〒450	名古屋市中村区名駅3-21-7 (三交ビル 1 階)	☎(052)	563-6822
金沢	〒921	金沢市玉鉾2-266	☎(0762)	91-8710
京都	〒604	京都市中京区烏丸通二条下秋野の町513 (京都第一生命泉屋ビル)	☎(075)	255-5953
梅田	〒530	大阪市北区中崎西2-4-12 (梅田センタービル)	☎(06)	373-8181
中之島	〒530	大阪市北区中之島3-2-18 (住友中之島ビル 1 階)	☎(06)	444-0520
神戸	〒651	神戸市中央区雲井通り4-2-2 (神戸いすゞリクルートビル 8 階)	☎(078)	291-0535
岡山	〒700	岡山市柳町2-6-25 (朝日生命岡山柳町ビル 3 階)	☎(0862)	21-8678
広島	〒730	広島市中区大手町3-7-5 (広島パークビル)	☎(082)	240-6712
高松	〒760	高松市紺屋町9-6 (高松大同生命ビル 6 階)	☎(0878)	23-4681
福岡	〒812	福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル 3 階)	☎(092)	411-4173
沖縄	〒902	沖縄市安里102 (日本生命安里ビル 2 階)	☎(0988)	66-7933

■カメラ技術センター(修理サービスご相談窓口)

東京・〒140 東京都品川区東品川1-2-5 (東信天王洲ビル 5 階)

☎(03) 3450-2731

大阪・〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3 (大阪研修センター 1 階)

☎(06) 941-1076

■営業所

大分・〒870 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル) ☎(0975) 37-4117

■休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日, 祝日)その他(土・日曜日, 祝日)